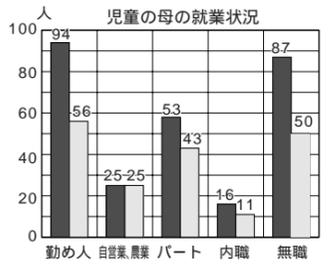
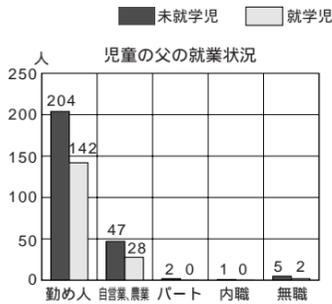
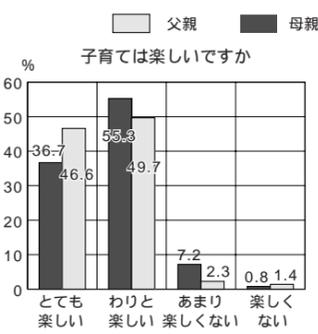


アンケート調査結果

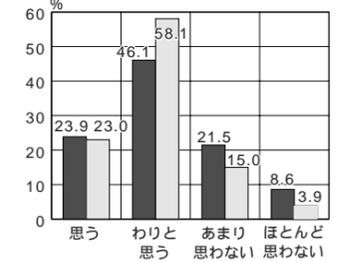
両親の就業状況(表1)



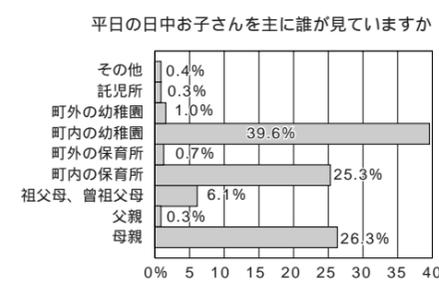
両親の子育ての意識(表2)



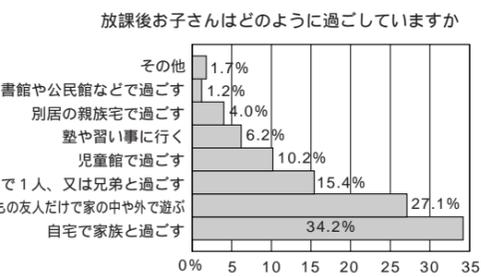
父親(自分)が子育てに参加していると思いますか



未就学児の保育状況(表3)



放課後児童の状況(表4)



子どもたちが安心して育つために

すこやか子育てプランを策定 子どもが安心して育つ 環境づくりを指して

子どもと家庭をとりまく状況

昨年実施したアンケート調査には、501名の方から回答をいただきました。調査結果は次のとおりです。

両親の就業状況
両親とも勤めている方が一番多く、母親がパートの方は2割を占めています。また、働く母親の割合が7割で、未就学児と就学児を見比べると未就学児の働く母親が275人中188人(68.4%)で、就学児の働く母親が185人中135人(72.9%)となっております。(表1参照)

子育ては楽しいですか
「子育ては楽しいですか」

現在日本では、少子化が進んでいます。その背景には子どもを育てる親たちが、仕事と子育ての両立が難しいと感じていることや、子育て事態に負担を感じていることが考えられます。町では、このような事態に対処するため、昨年、町内の0歳から小学3年生の子どもをもつ家庭を対象に学校・幼稚園・保育所・育児クラブ等を通じてアンケート用紙を配布し、子育ての状況や要望・子育ての意識についての調査を行いました。町では、この調査結果と意見を基に「すこやか子育てプラン」を策定しました。今月号では、このプランについて紹介します。

の質問は、両親とも9割の方が「楽しい」と答えています。父親の育児の参加については、「自分は子育てに参加している」と答えた父親が81%に対し、父親が参加している」と答えた母親は70%でした。(表2参照)

未就学児の保育状況
幼稚園・保育所・託児所等を利用しての方が全体の66.9%、両親・祖父母等家庭で子どもをみている方が32.7%でした。幼稚園などを利用しての主な理由は「両親が働いているから」が51%で、「教育として」が34%でした。(表3参照)

放課後の子どもの過ごし方
「自宅で家族と過ごす」が34.2%で一番多く、次いで

を推進していきます。
虐待防止体制の強化
育児負担やストレスの軽減を図り、関係機関とのネットワークを強化し、虐待防止の体制づくりを推進していきます。

2、子育てと仕事の両立支援
保育サービスの充実
保育所の入所待機児童の解消を図るとともに、多様な保育サービスの充実を努めます。

放課後児童対策の充実
子どもの健全育成活動として児童館の学童保育事業の充実を図ります。

労働環境の整備
育児休業制度の周知と啓発を図るとともに、職場における母性健康管理措置の推進を図ります。

3、心豊かなたくましい子どもを育てるための推進
多様な活動体験の推進
自然や文化とふれあいが個性を伸ばし創造性を育てる教育を推進します。

家庭・幼児・学校教育の推進
親子ふれあい事業や家庭教育の充実を図り、ゆとりある教育と健全育成を推進しま

四つの基本方針のもと各施策を展開

町では、こうした調査結果をもとに「すこやか子育て

す。

学校保健活動の充実
地域との連携を密にした保健活動の充実を図ります。

4、子育てしやすい生活環境の整備
遊びの環境の整備
子どもたちがのびのびと遊び、自然とのふれあい、安全で快適な遊び場の整備に努めます。

子育てにやさしい環境づくり
子育ての意識や支援の必要性について啓発に努め、子育てに配慮した環境を整備します。

計画の推進にあたって

計画の推進にあたっては、関係部門とのネットワーク体制を強化しながら施策に取り組んでいきます。

また、子どもの健全育成、子育て支援の啓発に努め町民の皆様のご理解とご協力を得て推進していきます。

この計画について詳しくは、町保健福祉課にお問い合わせ下さい。(02)2115